

葉梨法相更迭



岸田文雄首相は11日、葉梨法相を統投させる方針を一転し、榎本に更迭した。死刑執行を命じる法相を「地味な役職」とした報道の発言だけではなく、統投させた問題の評議も与党から疑問が出ていた。

内閣支持率が横ばいながら、首相自らの判断ミスが改めて問われる事態になってしまった。▼2面=首相窮地、4面=一問一答、10面=社説、33面=法相経験者は

岸田文雄首相は11日、葉梨法相を統投させる方針を一転し、榎本に更迭した。死刑執行を命じる法相を「地味な役職」とした報道の発言だけではなく、統投させた問題の評議も与党から疑問が出ていた。

死刑巡り「地味な役職」発言 首相、統投から一転

岸田文雄首相は11日、葉梨法相を統投させる方針を一転し、榎本に更迭した。死刑執行を命じる法相を「地味な役職」とした報道の発言だけではなく、統投させた問題の評議も与党から疑問が出ていた。

午前の参院本会議でも「説明責任を徹底的に果たしておられる」との声があがった。それに対し、榎本は「何回も発言を繰り返したい」とが分かり、与党内からも公然と辞任をもらわなければならない」と

午前、閣議後の記者会見で過去にも複数回、同様の発言をしていたことを明らかにした。

岸田政権では、政治資金規正法を所管する寺田裕司が法務相の政治資金問題が相次ぎて重罪問題を多く抱える。岸田政権では、政治資金規正法を所管する寺田裕司が法務相の政治資金問題が相次ぎて重罪問題を多く抱える。

後任に斎藤氏

法相
斎藤 健
63

(日統一教会)との接觸が次々と明るみた上で、早く更迭すべきだったとの声が少なからず、首相の判断の遅れが指摘されたばかりだった。

岸田政権で閣僚が不祥事で辞任するのは山縣大志郎・前経済再生相を10月24日に事実上、更迭して以来2人目。山縣氏をめぐっては、世界平和統一家庭連合

をめぐる話題が不祥事で、山縣大志郎・前経済再生相を10月24日に事実上、更迭して以来2人目。山縣氏をめぐっては、世界平和統一家庭連合

に問題がある」と評価した自民の斎藤健・元農林水産相を起用した。外交への影響も避けたため、東南アジア諸国連合(ASEAN)関連首脳会議も避けたため、東南アジア防衛への出張を11日午後から12日未明に渡りせるという風例の対応をとった。

12日朝公のカンボジアで始まる東南アジア諸国連合(ASEAN)関連首脳会議をめぐるたゞ本人から辞職の申し出があり、受け入れられた。ただし事実関係を説明するなどもあり、首相自身の対応には問題はなかったとの姿勢を強調した。

斎藤氏が「法相は朝、死刑のほんこを押し、風の二ユースのトップになるとるのはそういう時だけ」という地味な役職」といった発言をしたのは9日夜だった。翌10日には与党からも辞任を要求する声が上がり、ついで「職責の重きをしっかり感じ、説明責任を果たしてもらいたい」と記者団に語られたが、命に觸れる死刑執

(政治略、名前は複数の数字は年齢、丸数字は立場回数)



法相
斎藤 健
63

無派閥
元農水相
元水副大臣・環境省
衆院千葉7区
参院千葉7区